

# 第4回 大阪 睡眠を考える会

超高齢化社会を迎え、高齢者の睡眠障害は誰にとっても身近な問題となってきました。生理的にも睡眠は老化し、若いときに比べ、早寝早起き傾向が強まったり、途切れ途切れになりがちであるとともに、無呼吸や周期性四肢運動といった睡眠を分断させる現象もより多くの人に出現してきます。また、認知症においては、睡眠や覚醒についての問題が増え、夜間の覚醒、昼夜逆転など介護者にとって大きな負担となる症状を伴います。

今回、「大阪 睡眠を考える会」では、こういった高齢者とその介護者の睡眠の問題に焦点をあて、地域の高齢者の認知や睡眠の問題に広くかかわってこられた講師をお招きし、レビューと特別講演とを行います。ご多用のこととは存じますが、万障お繰り合わせの上、ご出席いただきますようご案内申し上げます。

日時：2006年 5月18日(木) 18:30～20:30

場所：ホテルグランヴィア大阪 20階 「名庭の間」

大阪市北区梅田 3 - 1 - 1 TEL.06-6344-1235

## プログラム

製品紹介(18:30～18:45)「ドラール錠(クアゼパム錠)」 三菱ウェルファーマ株式会社 学術グループ

座長 大阪府こころの健康総合センター 三上 章良 先生

レビュー(18:45～19:10)

「認知症介護者の睡眠の状況と問題点」

大阪大学保健センター 講師 足立 浩祥 先生

座長 大阪赤十字病院 神経内科部長 加藤 智信 先生

特別講演(19:20～20:30)

「高齢者ならびに認知症の睡眠障害」

愛媛大学医学部神経精神医学講座 助教授 池田 学 先生

当日、医師の方には参加費として1,000円徴収させていただきます。

当研究会は、大阪府医師会生涯研修システムに認定されております(3単位)。

研究会終了後、情報交換の場をご用意しております。

共催：大阪 睡眠を考える会 / 三菱ウェルファーマ株式会社 / 吉富薬品株式会社

後援：NPO法人 Osaka Sleep Health Network